

宮古島市記者会見資料

航空自衛隊宮古島分屯基地で発見された地中構造物中の汚染水について

令和8年6月5日（金）

宮古島市環境衛生局環境保全課

宮古島市水道部水道総務課

1. 沖縄防衛局による市への説明概要

2月3日、航空自衛隊宮古島分屯基地において、既設汚水マンホール撤去中に、鉄筋コンクリート製の地中構造物が発見された。設置者及び用途は不明であるが、異臭が確認されたことから、構造物内に溜まった汚水の分析を行ったところ、3月26日、ダイオキシン類、PFOS、PFOAの検出がされた。

(1) 構造物の位置 宮古島分屯基地ヘリパッド付近

(2) 構造物の形状 推定長さ約7m×幅約4m×高さ2mの箱形。壁の厚さは20cm程度。上部に煙突状の管とマンホールが付属している。それ以外に入排水管や窓などの外部に開く構造はない。発見当初、何らかの基礎と想定し一部を砕いたところ、内部が空洞で液体があることが明らかになった。現在は内部に雨水等が入らないようコンクリートで開口部を封緘してある。

(3) 内容物 黒色液体。強い腐敗臭のような匂いがする。分析結果は下表の通り。水位は構造物の半分程度で、水量は約30tと推定。開口以来、水位に変化がないことから構造物外への流出はないと推測している。

検出物質	検出濃度	基準値等	
ダイオキシン類	20 pg-TEQ/L	1 pg-TEQ/L	環境基準(公共用水域・地下水) 水道水質管理目標値
PFOS	110 ng/L	50 ng/L	水道水質基準値(合計値)
PFOA	200 ng/L		

(4) 対処予定

1) 内容物及び洗浄液を全て密閉容器に回収し、県外処理を行う予定。構造物も環境汚染を発生させない対策を十分検討のうえ、撤去予定。

2) 内容物の流出はないと推定しているが、念のため構造物周辺での調査を実施する予定。調査に当たっては宮古島市に助言を求める。

2. 宮古島市による説明

(1) 経緯

防衛局からは5月27日に電話で報告を受け、翌28日に対面で詳細な情報提供と市からの要望等を伝えた。6月3日に市が公表することにつき防衛局の確認を得た。6月4日市長らが現場確認。

(2) 構造物が発見された位置について

地下水流域としては上野流域上流に位置する。隣接する川満流域とは、不透水基盤が丘状に高まっていることにより区分されており明瞭な分水嶺は形成されていないとみられることから、川満流域も関係流域と見なす。東添道流域（水道水源保全地域）も隣接するが、断層による区分であることから東添道流域に影響する可能性はかなり低いと考える。

(3) 危険性に対する判断について

予断をもって判断できないが、今年2月から現在に至るまでの約4カ月間、水位に変化がないとのことであるから、まとまった水量の流出はないと確信する。長い年月を掛けての微量流出までは否定できないが、降水量、地下水量が相対的に大きいとみられるため、何らかの危険性が生じている可能性は低いのではないかと考えている。安全性確認ため、防衛局には早急な調査を要望している。

(4) その他

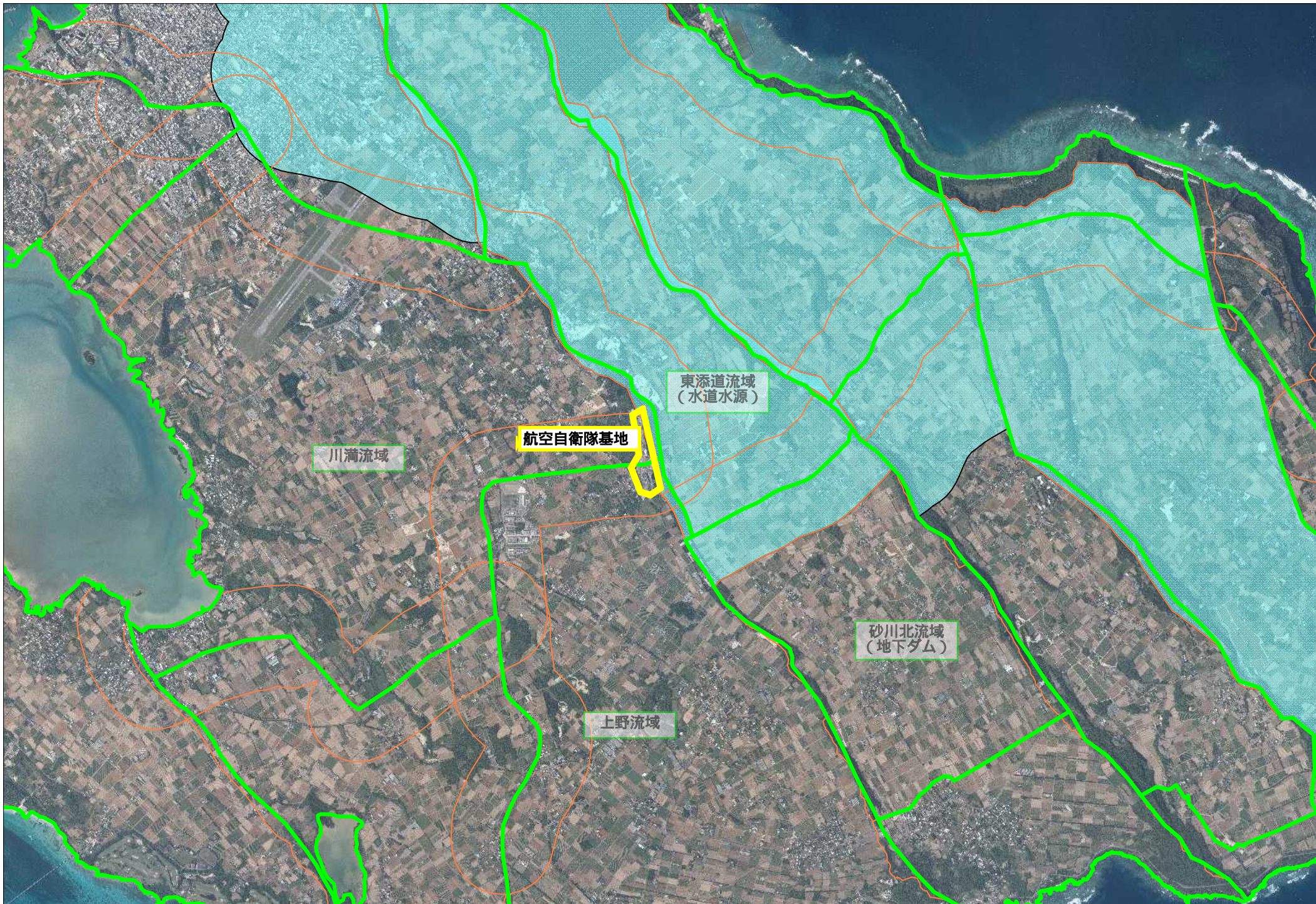
上野流域と川満流域において地下水採取許可を得ている事業所や個人等に、郵送による情報提供を行う予定。

本件に関するお問い合わせ先

宮古島市環境保全課 79-5283 課長 川満朝和

水道総務課 72-2653 課長 下地貞盛

沖縄防衛局報道室 098-921-8131 (内175, 176)



川満流域

航空自衛隊基地

東添道流域
(水道水源)

砂川北流域
(地下ダム)

上野流域

水色網掛：水道水源保全地域

緑線：地下水流域界

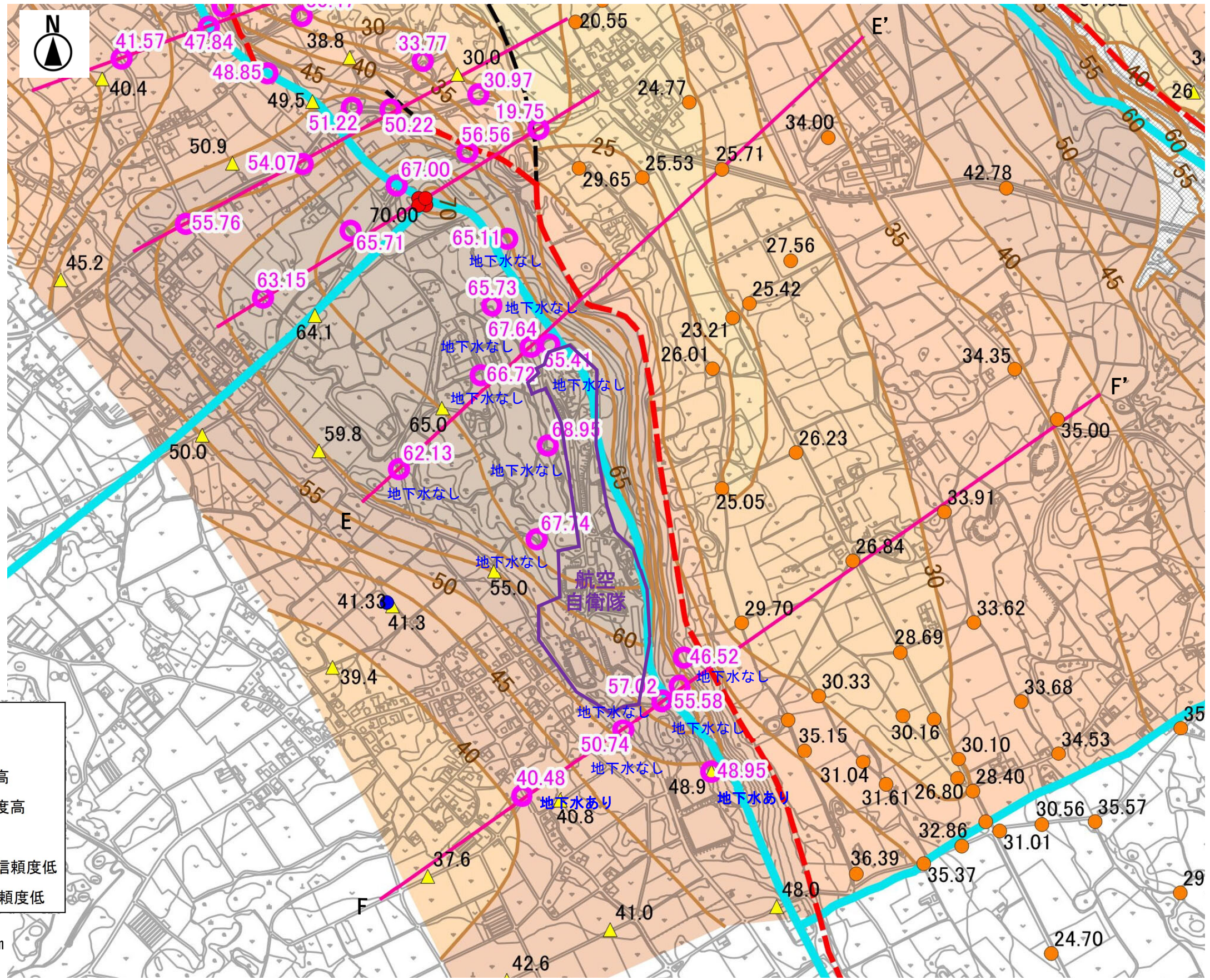
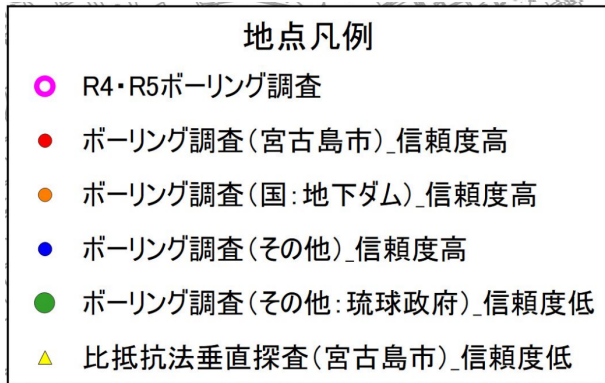
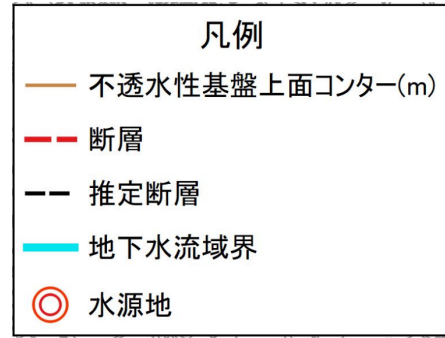
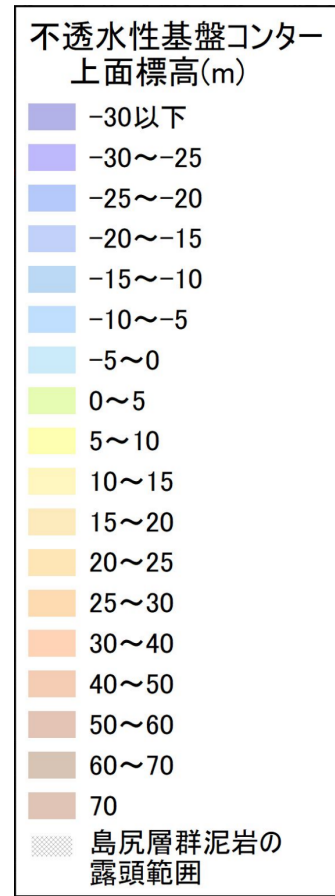


図1 不透水性基盤（島尻層群泥岩）上面コンター図及び地質断面図位置図（令和5年度地下水調査業務報告書に加筆）



地下構造物の現況を確認する市長および市職員と説明する防衛局関係者
(令和8年6月4日)